

## タッカー・カールソン：トランプへの投票は「反吐を催す 支配階級」を除く投票

### 【Greatchain 訳注】

誠実で要点をつくタッカー・カールソンが、昨今、大きな人気を得ているのは当然と思われる。我が国のメディアは、この大統領選挙の争点は何であることを明らかにしない。これに対してカールソンは、争点を通り越し、勝負の行方さえ問わず、「駆除すべき害虫はどちらか？」という観点で論じている。これがこの選挙では当然であろう。ここから、本来の争いは、両候補の間でなく、真実を明らかにするカールソンと、隠そうとする主流メディアの間のものであることがわかる。Disgusting（胸を悪くさせる）とは、ひどい言葉のようだが、そんなことはない。むしろ、明らかなるものを隠す方が disgusting であろう。

Jay Greenberg, @NeonNettle

November 3, 2020



Tucker Carlson いわく、選挙は、支配階級と働く階級の間で戦われている

フォックスニュースのホスト、タッカー・カールソンは、トランプ大統領に投票することは、「反吐を催す支配階級」に反対する投票だ、と宣言した。

カールソンは、月曜夜の番組で発言し、現職のトランプと、民主党候補ジョー・バイデンの選挙戦を、働く階級と支配階級の間での戦いにたとえた。

カールソンは、トランプ大統領は、アメリカ全土の勤労者の立場に立ち、一方、バイデンは、旧来の体制派を代表していると論じた。

カールソンは、トランプの最近のペンシルベニア州バトラーでの、大規模なラリーに焦点を当てた。

彼は、アメリカの政治が、労働者階級と支配階級の対立に変わってきたことは、確かだと言った。

カールソンは更に、トランプへの投票が、支配階級に反対して立ち上がる道を開くとも言った。



カールソン発言の全文：——

今、我々は国家選挙からあと数時間を残すのみとなり、突然、いろんなことが起こり始めています。消化することもできない、あまりにも多くのニュース。あらゆる方向から入ってくる主張のスローガンや、うわさがあります。最近のオンライン・ニュースを見ましたか？ 電話をチェックしましたか？ それは圧倒的な量です。今夜はひっきりなしに最新のニュースが入ってくるでしょう。我々は別の方向に行きたいと思います。この番組を、一つのイメージから始めようと思います。

さて、このイメージは、明日、誰が勝つのか、また負けるのかを語ってられません。それはこの選挙そのものを表す比喻であり、我々の今生きている時間、生き続ける時間の比喻

です。その光景は、ペンシルベニアのバトラーと呼ばれる街のもので、それはピッツバーの北 35 マイルの所にあります。大統領はここで、週末にかけてラリーを行いました。

バトラーは、ひとたび海岸から離れて内陸へ向かえば、この国のどこにでもある、多くの場所と変わりません。それはかつて工業の栄えた町で、プルマンの鉄道車両を何年も生産していたのですが、もう数十年も前から人口が激減しています。バトラーには相変わらず、すばらしい人々がいます。千ドルもあれば、ちゃんとした家を買えます。そこに住めばさぞ素晴らしいだろうと思います。しかし我々の上流階級は、バトラーをいいとは思っていないのです。彼等は、ペンシルベニアのバトラーのような場所を、未来とは考えていない。彼にとってバトラーのような所は、忘れた方がいいような、恥ずかしい過去の遺物です。ここの人たちは、この国を作ったかもしれないが、しかしそれは今、我々のリーダーにとって、どんな意味もないのです。

それは確かなことです。なぜなら、バトラーの多くの人々が、麻酔薬で自殺をし始めたとき、ワシントンや、ニューヨークや、ロサンゼルスに誰も、そのことについて何も言わず、それがずっと続いたのです。バトラーには、あまりにも多くの麻薬による死亡が多いので、数年前に、住人たちが町の真ん中に、定量超過を示す碑を建てました。MSNBC はそれを報道しませんでした。そういったことを考えてみると、バトラーあたりの人々が、ドナルド・トランプのことをどう思っているか、興味あることでした。土曜夜のこの大統領のラリーのありさまは驚くべきもので、何万という人々がやってきました。あまりにも多いので、群衆で地平線が見えなくなるほど——それはまるで法王の訪問のようでした。

政治的な演説がこれほどの人を引き付けたのは、過去の、いつだったでしょうか？ ところがメディアは、そんなことを問いもしませんでした。それどころか彼らは、このラリーを、スーパースプレッダー（ひどく感染を広げる者）の事件だとして攻撃しました。トランプが何千ものペンシルベニア人を、危険にさらしている！ よろしい、疫病感染はCNNに任せておくとしよう。しかし、問題はまだ晴れていません——なぜ、これほどの人々がやってきたのか？ なぜ？ 彼らは、ドナルド・トランプが、世界で最も悪い人間だと知っていたはずなのに——。彼らはそれを5年間、毎日、聞いていたはずで、彼らは、トランプ支持者もまた悪者だと知っている。この者たちは頑迷で、低能児で、人種差別信者なのだ。彼らは、アメリカ人が、トランプを支持したために、職場をクビになったことを知っているはずだ。社会メディアから蹴落とされ、子供たちは教師から差別され、まともな社会からはじかれている。トランプを支持するのは、敗者と変わり者だけだ。バトラーの人々は、すべてそのことを知っていたはずだ。ところが土曜日には、彼等とはにかく、トランプ・ラリーに繰り出したのです。

いったいなぜ、彼等はそんなことをしたのか？ 我々は、明日がまた返ってきて、その結果を生き続け、それを観察しながら、この問題を深く考え続けなければなりません。何百万というアメリカ人が、ドナルド・トランプを心から愛しています。彼らは、自分が聞かされたあらゆることにもかかわらず、彼を愛しています。彼らはしばしば、自分に反してでも彼を愛する。彼らは薄められはしません。トランプがどういう人かを確実に知っていて、とにかく彼を愛しています。彼らがトランプを愛するのは、誰も他に、自分たちを愛する者がいないからです。彼らが建設した国、彼等の先祖が何百年もかけて勝ち取った国は、彼らを死ぬままに放置し、残されたのは昔と違う小さな町で、財政は知っていても、その現実のスキルを何ももたない、薄のろどもに馬鹿にされ、軽蔑されています。するとこの者たちは、突然、すべてを取り仕切っているようでした。

ドナルド・トランプの欠点は何であれ、彼は、取り仕切る者たちより、すぐれていました。少なくとも彼は、彼等の弱点のために、彼らを蔑むことはない。ドナルド・トランプは要するに、今も、これまでも常に、この国を経営する者たちに対する、生きた告発だったのです。それは、トランプがどこからともなく現れて、大統領になった4年前から真実であり、今も全く変わらず、それが真実です。いや、今までより以上に真実かもしれません。そしてそれは、**ドナルド・トランプが再選されるか否かに関係なく、真実であり続けるでしょう。**トランプは、彼らが失敗したがゆえに成長する——それくらい単純なことです。

取り仕切る者たちは、自分が譲り受けた国に対して、中途半端な見せかけの仕事でもしたかもしれません——もし彼らが、自分たち以外のものに、一瞬でも気遣いをしたら。しかし彼らはそんなことはせず、代わりに彼らは、無能で、自己陶酔的で、残酷で、冷酷なほどに不正直者だったのです。彼らは、建設しなかったものを破壊し、それについてウソをつきました。また、彼らがやっていたことについて真実を話した人を、誰でも傷つけました。本当のことです。我々は見えていたのです。アメリカは今も偉大な国、世界で最上の国です。しかし我々の支配階級は、反吐を催させる者たちです。トランプに対する投票は、彼らに反対する投票です。それが今、この絵の中で起こっていることです。それがこの国で起こっていることです。



カールソンいわく、バイデンへの一票は「嫌悪を起こさせる支配階級」への一票だ